

第3次君津市経営改革大綱【概要】

目的

君津市総合計画の実効性の確保

背景

市の状況

- 人口減少・少子高齢化
- 公共施設等の老朽化
- 多様化・複雑化する地域課題
- 財政構造の硬直化

第2次君津市経営改革大綱

- ① 将来を見据えた行財政運営の確立・推進
- ② ファシリティマネジメントの強力な推進
- ③ 市民の視点に立った市政運営

国の動向

- SDGsの達成
- Society5.0の実現
- 経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）
- 地方行政サービス改革の推進に関する留意事項（H27）等

第3次君津市経営改革大綱 改革の方策及び構成

方策1 将来を見据えた行財政基盤の確立・推進【財源確保】

- (1) 徹底した事務事業の見直し
- (2) 歳入の確保

方策2 ファシリティマネジメントの強力な推進【トータルコストの縮減】

- (1) 公共施設の適正配置
- (2) トータルコストの縮減
- (3) 経営資源の利活用

方策3 誰もが実感できるDXによる改革【市民サービスの拡充】

- (1) デジタル技術を活用した業務改革
- (2) 市民サービスの向上

方策4 働き方改革・業務生産性向上の推進【人的資源の確保・人材育成】

- (1) 働き方改革の推進
- (2) 効率的・効果的な業務の遂行
- (3) 職員の意識改革

改革・計画・予算の一体的な連動



取組期間

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
君津市総合計画 基本構想	→								
君津市総合計画 基本計画	→				→				
君津市 経営改革大綱	第2次	第3次			第4次				

財源確保・人的資源の確保

令和6年度から令和8年度までの3年間（総合計画の前期基本計画との整合性を図る。）
 ※関連計画 君津市公共施設等総合管理計画（H29～R28）
 君津市DX推進計画（R4～R8）